

短歌三首

二一四番

去年こぞみ見てし 秋あきの月夜つくよは 渡わたれども 相見あひみし妹いもは
いや年としさか離る

二一五番

衾道ひすまぢを 引出ひきでの山やまに 妹いもを置おきて 山道やまぢ思おもふに
生いけるともなし

二一六番

家いへに来て 我わが屋やを見みれば 玉床たまどこの 外ほかに向むきけ
り 妹いもが木枕こまくら